

～職場のエンゲージメントを高める～

製造現場のムダに気づく7つの視点

開催日時	2025年 8月 5日(火)	オンライン	
	2025年 10月 14日(火)	大阪会場	
	2026年 2月 3日(火)	オンライン	各回とも 10:00～16:30
対 象	<ul style="list-style-type: none"> 製造部門の中堅社員、リーダー、管理者、スタッフの方 改善活動推進担当の方、生産管理担当の方、OJT指導・インストラクターの方 「ムダ取り」の改善が出せなくて困っている方、新しい着眼点を取り入れたい方 		
講 師	石川 秀人 氏 コンサルティング(株) フェロー・コンサルタント	参加料(税込)	法人会員：50,600円/1名 会 員 外：56,100円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

強い現場は常に改善のサイクルが回っています。改善活動の第一歩は、当たり前と思い込んでいる日々の業務に潜むさまざまな“ムダ”への気づきからです。

ムダを考える時、通常は自分や組織内部の視点で考えてしまい、ほとんど見つけることができません。いま行っていることは「組織にとって必要」なものだからです。

必要なのは「顧客にとっての価値を生み出しているか」への発想の転換です。

本セミナーでは、製造現場における(顧客にとって価値のない)ムダを7つの視点で捉え、それぞれのムダを見つけるための着眼点や、ムダ取りの実践方法について丁寧に解説します。演習や事例研修を挟みながら進めますので、自社の改善の方向性を頭に描きながら学ぶことができます。

参加者の声

- ・業務改善活動に必要な考え方、無駄をなくすための手法を知ることができた。現場に適用できそうなところから、検討を進めていきたい。
- ・職場で発生している動作のムダの分析方法、手法を学ぶことが出来たので明日からの仕事にいかしたい。新入社員は自分がしている動作にムダがあっても気づけないため、作業時間を計測し、結果を見せて一緒に考えることも改善への一歩であると感じた。
- ・親切、丁寧に聞き取りやすく良かったです。
- ・話を聞くだけでなく、演習等を通して自分で考えることや実際にやってみるなどの体験ができ理解しやすかったです。

■ プログラム

10:00～16:30 [昼食] 12:00～13:00

■ はじめに。ムダに気づこう！

- ・価値創造のためのムダ取り
- ・ムダ取り改善のステップ
- ・ムダを取ることで生まれる効果

演 習 4M視点でムダの抽出

1 加工そのもの のムダ取り改善策

- ・VA/VE
- ・つくるスピード
- ・16大ロス

2 不良をつくる ムダ取り改善策

- ・既知の不良に対する再発防止策
- ・未知の不良に対する未然防止策
- ・変化点管理
- ・自働化
- ・リスク管理
- ・異常管理

3 運搬 のムダ取り改善策

- ・レイアウト設計のポイント
- ・運搬効率を上げる原則
- ・工程分析
- ・置場、集荷、運搬の流れをつくる

4 つくり過ぎ のムダ取り改善策

- ・つくり過ぎは問題を隠してしまう
- ・生産管理の3ステップ
- ・作業任せにしない
- ・在庫が増える理由

ゲーム演習

5 在庫 のムダ取り改善策

- ・つくる側の論理
- ・低コスト、高効率、安心賃主義からの脱却
- ・原材料削減の着眼点
- ・仕掛在庫削減の着眼点
- ・完成品削減の着眼点

6 動作 のムダ取り改善策

- ・動作分析によるムダ抽出
- ・改善の対象は非正味作業
- ・動作改善の着眼点
- ・ECRSの原則
- ・標準化

演 習

7 手待ち のムダ取り改善策

- ・手待ちの正体
- ・滞留が手待ちを生む

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

